

今日の合唱練習は武道場です。(2の3 10月22日)

「今日は 25 人来館しました。」一休みの開館を終えた図書委員が教えてくれました。20分程の開館時間にも関わらず、毎日多くの生徒が図書室を訪れています。司書の八木さんの話では、100人を超えた日もあったそうです。

本校では、読書に誘う楽しい掲示が様々な場所で工夫されています。そして図書室をのぞいてみると…。テーマ別や作家別、時にはラッピングされ書名の隠された本まで、本たちが大机に並べられています。本が書架を飛び出し、手に取ってと私たちに話しかけているようです。

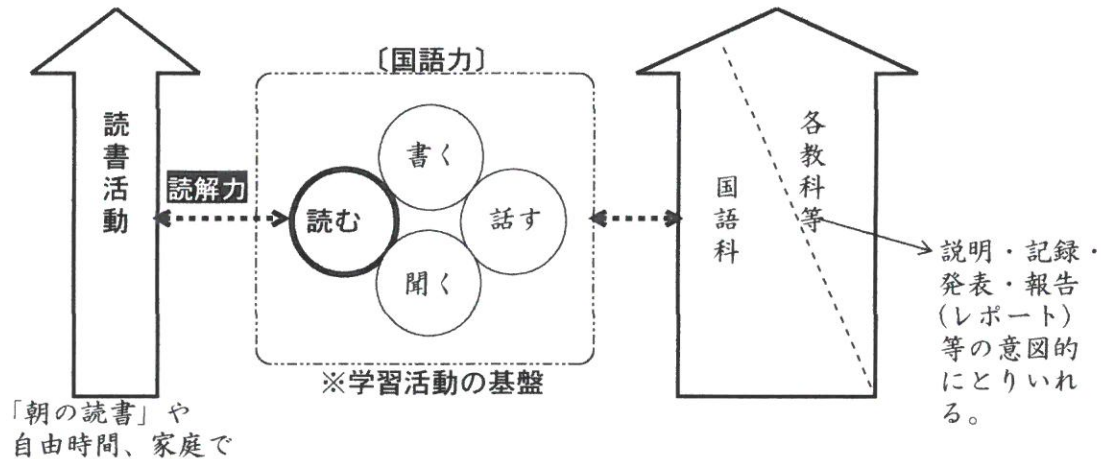
『モモ』や『はてしない物語』の作者 M - エンデは、「世界は言葉(名前)からできており、それを知ることが自分の世界を広げる。」と話しています。覚えた言葉の数だけ、その人の世界が広がっていくというステキな暗示です。

明日から読書週間が始まります。今年のスローガンは「ラストページまで駆け抜けて」。ぜひ気になる本を手に取りページをめくってください。一気に読み終われなくてもいい。何か違うなと思ったら別な本に替えてもいい。きっとあなたと本との新たな出会いがあるはずです。

読書週間

読書が支えるもの

本を読むこと自体が楽しいことです。それに加え「言葉が豊かになり国語力がつく」——読書が学習面に良い結果をもたらすことも指摘されています。生徒個々の違いはありますが、読書が読解力(内容を正しく読み取る力)の育成に寄与しており、それが巡り巡って学力の向上を下支えしている面があることが、全国学力テストの結果などから報告されています。



【読書をめぐる過去の新聞記事】

3人に1人 月0冊 (福島民報 17.6.25)

18歳以上の人を対象に今年実施された「読書」に関する世論調査で、このような結果が出ました。スマホなどが「本離れ」を招いていると分析されています。

中高生 読解力に不安 (福島民友 17.11.28)

国立情報学研究所が中高生を対象に昨年行った調査で、「主語と述語の関係といった係り受けなど、文章の基本的な構造が理解できていない中高生が多く見られる」と報告されました。そして「読解力が不十分だと社会生活を送る上でも大きな影響が出る」「子どもたちの読解力の底上げにつながる支援が必要」と話しています。

中3 多面的に読む力必要 (朝日新聞 16.9.30)

全国の中学年3年生全員を対象に行われた学力テストにおいて、国語の結果から次の課題が示されました。①質問の意図や相手の話の主旨を考える能力を高めること。②読書やニュースを通じて、様々な表現に日常的に触れること。③違うジャンルの題材を組み合わせて多面的に読む力を高めること。

同調査の生活に関するアンケートからは、読書や新聞を読む習慣のある生徒は、各教科の正答率が高い傾向にあることも報告されています。



図書室には様々な工夫がいっぱい!!

【学年目標】 ■自ら判断し行動できる生徒 ■自ら学びに取り組む生徒
■お互いの良さを認め、思いやる気持ちを持てる生徒

いわき市立好間中学校 郵便番号 970-1143 福島県いわき市好間町小谷作字竹ノ内1-1
電話番号 0246(36)2204 FAX 0246(36)2338